

## ES-OT4 の効果(5)

—メモリー直結—

### 1. 始めに

USB リベラメンテの活用方法として A 型⇔B 型変換コネクタを使用し、その先に USB メモリーやメモリーカードをつけることを実施してきました。

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/4821bb5db4b3667263ef64512afe3109.pdf>

今回、A 型⇔B 型変換コネクタの代わりに ES-OT4 を使えばどうなるかについて試みてみました。

### 2. USB ノイズフィルターES-OT4 の試聴の方法

音源は、512sDSD、256sDSD、128sDSD の各音源を準備し、SD メモリーカードに収納しておきます。これらの音源を PC にインストールした HQPlayer Desktop 3 ASIO により DSD Native で micro iDSD に送り出します。

試聴ルート下記のとおりとします。

PC→micro iDSD→DA-3000 (44.1 KHz) →MYTEK DIGITAL 192-DSD  
(DA-3000 よりクロック供給)

DA-3000 には ABS-7777 から 44.1 KHz のクロックを供給します。PC と micro iDSD は USB リベラメンテ 1.3m で接続いたします。

音源の読み出しは下記のとおりとします。メモリーカードリーダーは A 型⇔B 型変換コネクタや ES-OT4 と直結しています。

- ①メモリーカードリーダー→【A 型⇔B 型変換コネクタ】→PC  
(USB リベラメンテ×1)
- ②メモリーカードリーダー→【ES-OT4】→PC (USB リベラメンテ×1)
- ③メモリーカードリーダー→【A 型⇔B 型変換コネクタ】→PC (USB-W1×1)
- ④メモリーカードリーダー→【ES-OT4】→PC (USB-W1×1)

すなわち、①と②、③と④では ES-OT4 の効果を A 型⇔B 型変換コネクタを対照として調べ、①・②の組と③・④の組では、ES-OT4 の効果をケーブルの違いでみてみようとするものです。

### 3. USB ノイズフィルターES-OT4 の試聴結果

①と②では、ともに USB リベラメンテ自体の威力があつて、それほど大きな違いは認められませんでした。若干 ES-OT4 挿入の方が A 型⇔B 型変換コネクタより

DSDらしさが出ているように感じられます。③と④では ES-OT4 の方が A 型⇔B 型変換コネクタより明らかに音像はしっかり立ち、音場感も豊かに聴こえます。即ち、USB-W1 の方が ES-OT4 の効果ははっきり分かり、USB リベラメンテでは A 型⇔B 型変換コネクタでも USB リベラメンテの音質のベースがあるので、ES-OT4 に替えてもさほど大きなメリットはないということになります。

#### 4. まとめ

メモリー直結の場合の ES-OT4 の効果は使用するケーブルによって変わることが分かりました。

以上